

とう けい けん てい

統計検定

3級・4級に挑戦！

とうけいけんてい
統計検定とは

統計に関する知識や活用力を評価する
全国統一試験です。

- 基本的な用語や概念に関する事を問います。
- 基本的な数値を求める問題が出ます。
- データや表・グラフから何が言えるかを問います。
- 級に応じた統計活用問題が出ます。

データに基づき
科学的に問題を
解決する能力を
つけましょう !!

あのナイチンゲールは
統計学者だった？!
詳しくは裏面を
ご覧ください。



試験日

2018年6月17日(日)

2018年11月25日(日)

一般会場

札幌、東京、名古屋、大阪地域、福岡地域 他

試験時間と受験料

4級 10:30～11:30 3,000円

3級 13:30～14:30 4,000円

(1日で3級・4級が受験できます)

団体特設会場

10名以上の受験者がいる場合、お申し出により
教室を会場にすることができます。

統計検定各級のレベル

4級

データ分析の基本と
具体的な文脈における活用力

棒・折れ線・円などの統計グラフ、データの種類、度数分布表、ヒストグラム（柱状グラフ）、代表値（平均値・中央値・最頻値）、範囲、クロス集計表、時系列データの基本的な見方（指數・増減率）、確率の基礎など

3級

データ分析の手法を身に付け、
身近な問題に活かす力

4級の内容に加え、標本調査、データの散らばりの指標（四分位数・四分位範囲）、データの散らばりのグラフ表現（箱ひげ図）、2変数の相関（相関係数）、確率（独立な試行・条件付き確率）など

さらに上位の試験もあります

2級

準1級

1級



申し込み
及び
問い合わせ

統計検定センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 一般財団法人 統計質保証推進協会
E-mail : webmaster@toukei-kentei.jp

統計検定センター

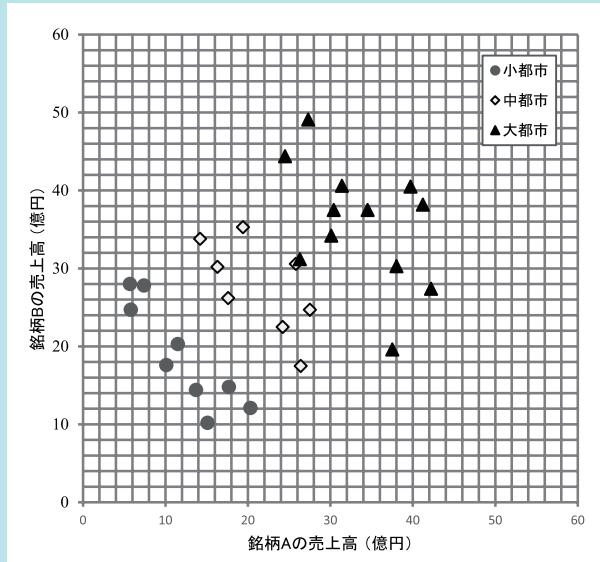
検索

とうけいがんてい 統計検定問題を解いてみよう!



3級

次の図は、関西の29都市を人口規模をもとに3つの群(小・中・大都市)に分けて、飲料メーカーの2つの銘柄A、Bの売上高を描いた散布図である。



この散布図から読み取れることとして、次のⅠ～Ⅲの記述を考えた。

Ⅰ. いずれの都市のグループ(小・中・大都市)でも、銘柄Aの売上高と銘柄Bの売上高には負の相関関係があると考えられる。

Ⅱ. 29都市全体でみると銘柄Aの売上高と銘柄Bの売上高には正の相関がみられるので、銘柄Aを購入する人は銘柄Bも購入する傾向があることが分かる。

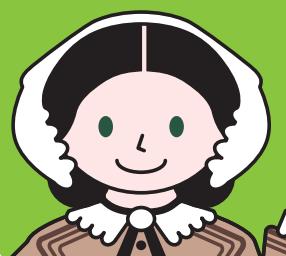
Ⅲ. 小・中・大都市における銘柄Aの売上高と銘柄Bの売上高の相関係数をそれぞれr小,r中,r大とするとき、29都市全体における銘柄Aの売上高と銘柄Bの売上高の相関係数は、(r小+r中+r大)/(r小+r中+r大)で計算できる。

この記述Ⅰ～Ⅲに関して、次の①～⑤のうちから最も適切なものを一つ選べ。

- ① Ⅰのみ正しい ② Ⅱのみ正しい ③ Ⅲのみ正しい
④ ⅠとⅢのみ正しい ⑤ ⅡとⅢのみ正しい

2015年の問題より（一部、修正あり）
正解は下に記載

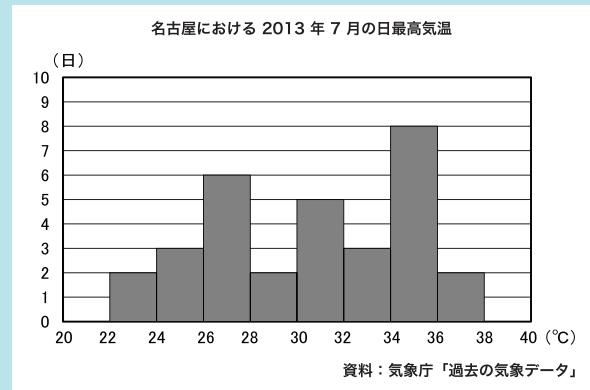
ナイチンゲールと統計



「白衣の天使」「ランプの貴婦人」と呼ばれるナイチンゲール(1820-1910)は、クリミア戦争による負傷者の治療に関わる中で、統計的な手法を工夫して、衛生状態と死亡の関係を明らかにしました。

4級

次のヒストグラムは、名古屋における2013年7月の日ごとの最高気温を示したものである。ただし、ヒストグラムの階級はそれぞれ、20℃以上 22℃未満、22℃以上 24℃未満、…、38℃以上 40℃未満のように区切られている。



(1) データの中央値が含まれる階級として、次の①～⑤のうちから適切なものを一つ選べ。

- ① 26℃以上 28℃未満 ② 28℃以上 30℃未満
③ 30℃以上 32℃未満 ④ 32℃以上 34℃未満
⑤ 34℃以上 36℃未満

(2) 最高気温が30℃以上であった日数として、次の①～⑤のうちから適切なものを一つ選べ。

- ① 5日 ② 7日 ③ 13日 ④ 18日 ⑤ 20日

2016年の問題より（一部、修正あり）
正解は下に記載

解答のポイント

- 統計に関する用語は正しく理解しましょう。
- 実際のデータや統計表・統計グラフを利用した問題が出ます。これらを正しく解釈しましょう。
- 解答は選択肢から一つ選びます。

参考図書



統計検定3級対応
『データの分析』
東京図書



統計検定4級対応
『資料の活用』
東京図書